

2021 年度司法試験 合格体験記

Plus Ultra!! ～合格の更に向こうへ～

2019 年度既修入学

杉浦一輝

1. はじめに

合格体験記なのに、なぜ合格の更にその先を話すのか。回りくどいように思えますが、実はこれが合格への近道となるのです。

司法試験は、法曹になるための試験です。したがって、その目的は、「法曹となろうとする者に必要な学識およびその応用能力を有するかどうかを判定すること」にあります。法曹にとって必要な能力とは何か。同じく法律の学識を有する法学者と何が違うのか。私は、これを「バランス力」と考えています。法学者と異なり、法曹は幅広い法分野の知識をバランスよく有していることが必要です。また、理論的な解決と依頼者の利益との落としどころを探るバランス感覚が必要となる場面もあります。このように、法曹はあらゆる場面で「バランス力」が求められます。そして、この力を測ることが、司法試験の目的なのです。

といっても、司法試験ですべての「バランス力」が測れるわけではありません。そこで、以下では試験に直接関係する3つのバランスに絞ってお話します。

2. 8科目のバランス

司法試験は、基本7法+選択科目の8科目の「総合点」で決まります。これは、どれかの法分野に特化していれば良いというわけではなく、「どの分野でも一定の水準を備えている」ということが求められているわけです。といっても、求められる水準はそれほど高くありません。「全科目」で平均点（受験者のほとんどができるライン）が獲れば確実に合格できます。

簡単のように思えますが、全科目を平均点で揃えるのはかなり大変です。自分の苦手科目・苦手分野をしっかりと把握し、穴を埋める努力が必要です。苦手なこと・できないことに向き合うのは辛いですが、これを乗り越えれば合格に大きく近づきます。8科目をバランスよく伸ばせるように頑張ってください。

3. インプットとアウトプットのバランス

司法試験で評価対象となるのは、「答案」のみです。理解して表現するまでに至った過程・努力は、一切評価されません。どんなに頑張ってきたとしても、どんなに理解したつもりであっても、それを文章にできなければ無駄になってしまいます。試験勉強は自分の理解を「文章」の形で表現できる段階までできてはじめて完成する、ということをご心得おいてください。これがアウトプットです。

他方、アウトプットは、十分な理解、すなわちインプットが適切にできてはじめて

て意味があります。ただやみくもに答案を書けば上達するものではありません。アウトプットして出来上がった文章に不安があるのであれば、もう一度インプットに立ち返ってみましょう。

このように、インプットとアウトプットは相乗効果をもたらします。どちらか一方ばかりになるのではなく、適切なバランスで行うよう努めてください。

4. 勉強と遊びのバランス

試験対策で「遊び」？と思われるかもしれませんが、1人でも友達とでも、家でゆっくり過ごすのでも外で体を動かすのでも、自分の好きな「遊び」をすることは、自分らしさを保つのに重要です。試験本番は非日常な雰囲気があり、イレギュラーなことばかり起きます。そんな状況下でベストを尽くすためには、本来の自分でいられることが大切です。試験直前であろうと、遊びたいときはしっかり遊び、普段通りの自分で試験に臨んでください。

また、豊かな経験は多様な見方を与えてくれます。司法試験は事例問題であり、さまざまな視点から分析することが求められますから、多様な見方を持つておくことは有益です。いろいろな「遊び」を通じて豊かな経験を積み、人として成熟した法曹を目指してください。

司法試験は、勉強以外の一切を捨てなければ合格できないような試験ではありません。勉強と遊びを両立させることは、十分可能です。大切なことは、すべて「バランス」なのです。

5. バランスの取り方

具体的にどうやってバランスを取るかは人それぞれですが、私なりのアドバイスを述べておきます。

バランスを取るためにいきなり「中庸」を狙うと、大抵失敗します。その状態で得られるのは、「中途半端」な結果だけです。まずは、「やりすぎ」で臨むべきだと思います。遊びたいときは勉強を気にせずしっかり遊ぶ、他の科目が溜まっても分からない科目があれば徹底的に調べる。そうしていると「偏り」が生じるので、偏りを感じたときに他方に配慮すれば良いのです。「最近インプットばかりだなあ」と偏りを感じるのであれば、答案を書いてアウトプットしてください。一方に注力したら他方にも注力する。これを繰り返していけば、自然に「バランス感覚」が身につくはずです。

6. さいごに

必死に1つのことに集中できるのは良いことですが、「バランス」を意識するのも大切であるということを述べてきました。

ロースクールの中でも阪大はとても環境が良く、「ローヤーアカデミア」として素晴らしい場所だったと感じています。

あとは、皆さん自身がどれだけ努力できるかにかかっています。

過去を振り返って「なぜローヤーを目指すのか」という原点を再確認すれば、どんな

辛いことがあっても乗り越えられるはずです。

合格の更に向こうへ！ Plus Ultra！！

以上